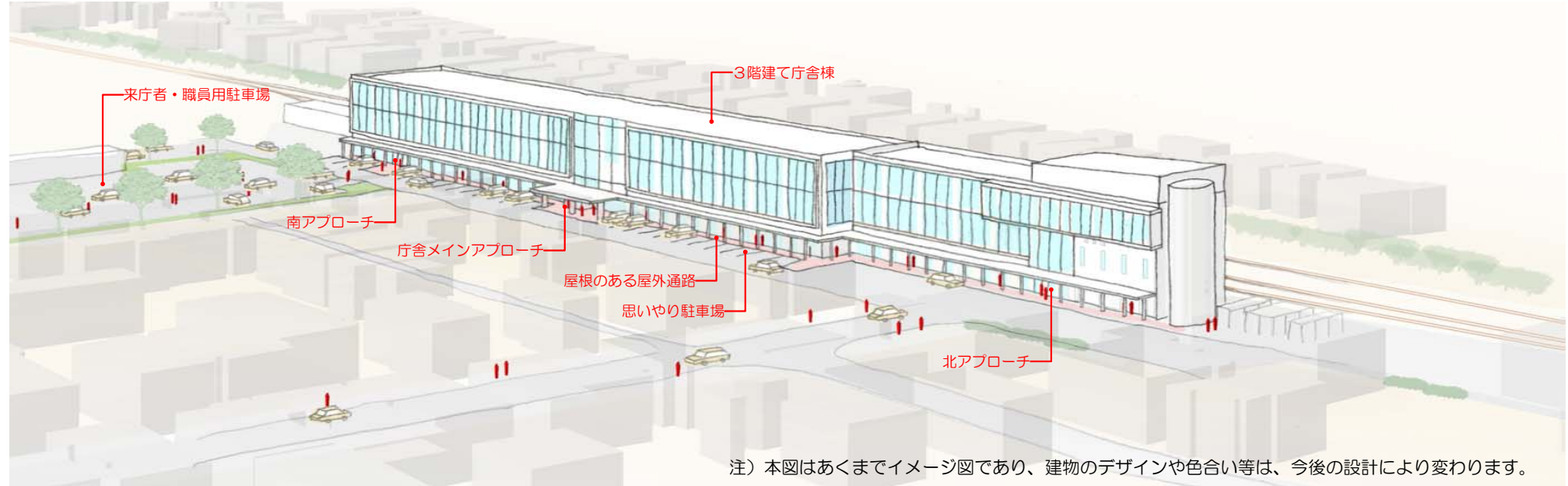


長井市新庁舎基本設計概要(案)

新しいまちづくりの出発点となる庁舎は、誰にでもやさしい、利用しやすい施設として未来を見据えた、「ユニバーサル庁舎」を目指します。
市民の利便性の向上、効率化を図り、気軽に訪れることのできる庁舎とし、市民と行政の協働による、新たな魅力あるまちづくりの拠点として整備します。

敷地概要		建物概要	
敷地面積	約18,800㎡	庁舎棟	SRC造 3階建 約7,700㎡
用途地域	商業地域/工業地域	倉庫棟	S造 平屋建 約200㎡
建ぺい率	80%/60%	車庫棟	S造 平屋建 約350㎡
容積率	400%/200%		

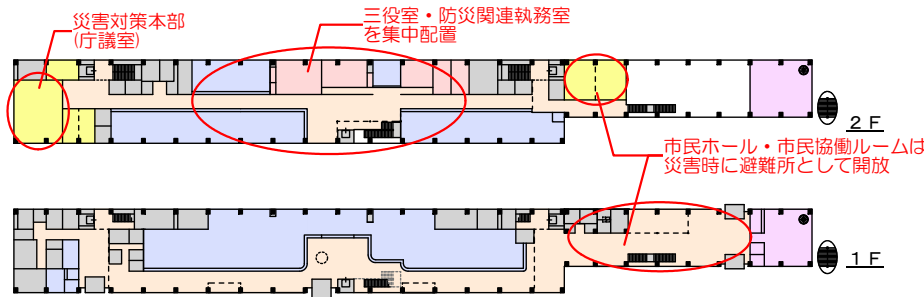
庁舎構成			
3階	機械室	執務室	議会エリア
2階	庁議室 (災害対策本部)	三役室	執務室 市民協働ルーム
1階	執務室(窓口部門)		市民ホール 山形鉄道



注) 本図はあくまでイメージ図であり、建物のデザインや色合い等は、今後の設計により変わります。

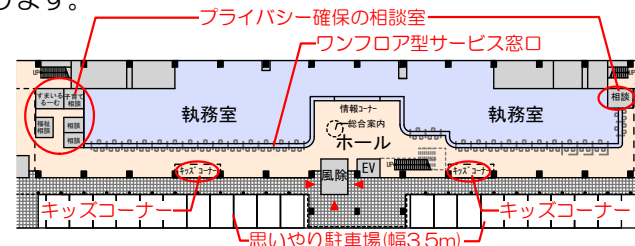
基本方針1 市民の安全と安心を守る庁舎

- ### 危機管理機能
- 耐震性の高い構造を採用、災害時に迅速かつ確実に対応し、市民の安全を守るために、危機管理機能を充実させます。
 - 庁舎2階フロアに三役室、防災関連執務室を集中配置することで、市長を中心に迅速かつ確かな指令系統を可能とします。
 - 三役室と同フロアの庁議室は、災害時に統制指揮系統となる災害対策本部へと転換できる計画とします。
 - 災害時には、市民の避難所として1階市民ホールと2階市民協働ルームを開放する計画とします。



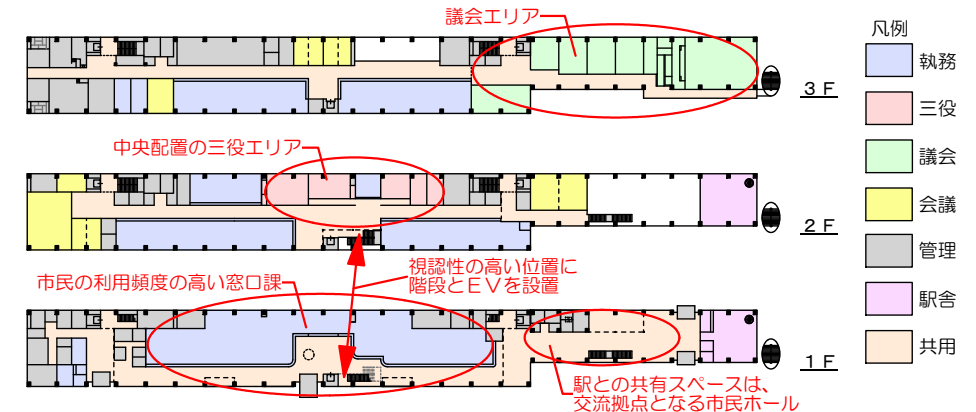
基本方針2 わかりやすく人にやさしい庁舎

- ### 利用頻度の高い窓口は1階に集約配置
- 市民の利用頻度の高い窓口(市民課・税務課・福祉あんしん課・子育て推進課・健康課)を1階にまとめて配置します。窓口は、ワンストップ窓口としてワンフロア型を採用します。
- ### プライバシーに配慮した相談環境の整備
- 個室の相談室の設置や隔てのあるカウンターを設置を行いプライバシーの確保を行います。
- ### 高齢者や子育て世代への配慮
- 高齢者や障がい者、妊婦の方が利用しやすい思いやり駐車場(幅3.5m)、お子様連れの方に配慮したキッズコーナー、授乳室など子育て支援スペースの充実を図ります。



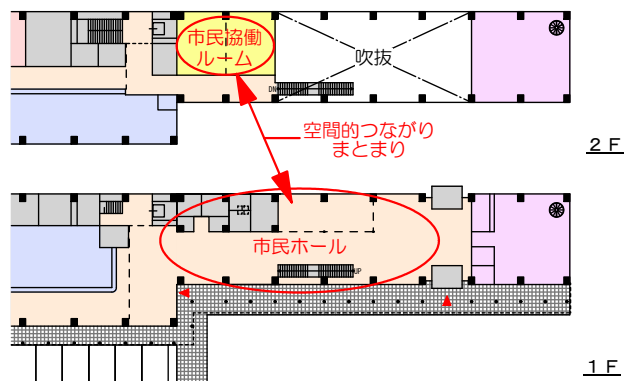
基本方針3 機能的で利便性の高い庁舎

- ### 機能的な空間の配置
- 1階：市民の利用しやすいように配慮して、利用頻度の高い課・窓口を配置します。駅舎との共有スペースは、交流拠点となる市民ホールとして計画します。
- 2階：三役室及び関連課の配置を行い、災害時の迅速な対応を可能にします。
- 3階：駅・市民ホールの上部に議会エリアを計画し、駅と一体となったシンボル性のある計画とします。



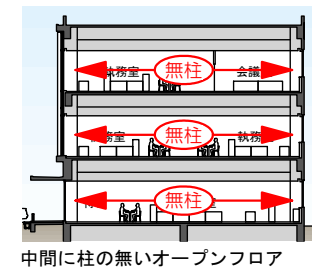
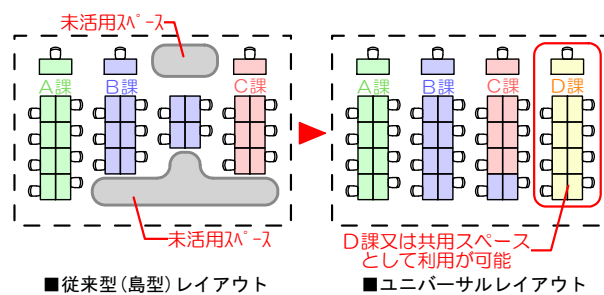
基本方針4 交流とふれあいを生む親しみやすい庁舎

- ### 賑わいを育むふれあい交流エリア
- 駅と一体となった賑わいを育むふれあい交流エリアを計画します。交流エリアの1階は、交流・談話・展示等が行える吹抜け空間で開放感のある市民ホールとします。
- ### 市民協働ルーム
- 市民ホール上部に面して、2階に市民協働ルームを配置し、空間的つながりとまとまりがある計画とします。



基本方針5 将来変化に対応する経済的な庁舎

- ### 無柱のオープンフロア
- 将来の変化に対応できる無柱のオープンフロアとし、フレキシビリティを確保します。
- ### ユニバーサルレイアウト
- 執務室はOAフロアと、家具のレイアウトにユニバーサルレイアウトを採用することで、将来の改変に柔軟に対応し、設備費用の削減を図ります。



基本方針6 環境配慮や立地特性を踏まえた庁舎

- ### 屋根のある屋外歩行空間
- 新庁舎に、長井駅につながる雁木の外部通路を計画します。屋根付きの外部通路は、降雪時や夏の日射から市民をやさしく守り、思いやり駐車場からのアクセスを容易にします。
- ### ランドマークとなる庁舎
- 庁舎と長井駅を有機的に融合し、駅前通りからのランドマーク的な施設とします。交流エリア3階には、市街地を望むことのできる眺望廊下を設置します。

